

## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月30日

上場会社名 株式会社 スペースシャワーネットワーク  
 コード番号 4838 URL <http://www.spaceshower.net/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 英明  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 瀧川 正靖  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3585-3242

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	8,841	△0.2	206	△22.1	212	△24.5	108	△20.3
25年3月期第3四半期	8,859	9.0	264	269.5	281	217.5	135	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 108百万円 (△20.3%) 25年3月期第3四半期 136百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	10.13	—
25年3月期第3四半期	12.71	—

(注) 平成25年10月1日付をもって1株を100株に株式分割しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、これに伴い、1株当たり四半期純利益を算出しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	6,433	3,758	58.4
25年3月期	6,670	3,743	56.1

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 3,758百万円 25年3月期 3,743百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	875.00	875.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	11.25	11.25

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を実施しております。当該株式分割に伴い、平成25年5月23日付をもって1株あたり8円75銭へと配当予想を修正しております。平成26年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 8円75銭 記念配当 2円50銭

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,678	0.2	400	22.7	400	17.3	227	36.6	21.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成25年10月1日付をもって1株を100株に株式分割しております。1株当たり当期純利益も当該株式分割を考慮して算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 ー社 (社名) 、 除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	10,690,800 株	25年3月期	10,690,800 株
26年3月期3Q	ー株	25年3月期	ー株
26年3月期3Q	10,690,800 株	25年3月期3Q	10,690,800 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注)平成25年10月1日付で株式1株につき100株の株式分割を実施しております。上記の株式数につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し算出しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高の是正や株価の高騰、政府による経済対策等を背景に、企業収益や雇用環境が改善し、個人消費は持ち直しの傾向が見られるなど、景気は緩やかに回復してまいりました。一方で、海外景気の下振れや消費税増税後の景気減速など、先行きについては不透明感を残したまま推移いたしました。

こうした中、当社グループでは、業績回復の更なる伸長、コンテンツプロデュース力の強化による既存事業の成長と新規事業の取組発展、組織再編後の会社の基盤整備とコミュニケーション戦略の立て直しを当連結会計年度の経営方針に掲げて経営を行っております。

この結果、売上高は8,841,855千円と前年同期比18,132千円減（同0.2%減）となりました。また、営業利益は206,285千円と前年同期比58,367千円減（同22.1%減）、経常利益は212,769千円と前年同期比69,019千円減（同24.5%減）、四半期純利益は108,328千円と前年同期比27,535千円減（同20.3%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ①音楽事業

有料放送の番組視聴可能世帯数につきましては、「スペースシャワーTV」が828万7千世帯、「100%ヒッツ！スペースシャワーTVプラス」が292万8千世帯となりました。有料放送収入は前年同期並みだったものの、レコードメーカーからの広告出稿が減少したことや、番組制作費が前年同期比増加したことなどにより、当第3四半期連結累計期間における放送関連の業績は前年同期を下回る結果となりました。音楽ソフト関連では、著作権隣接権収入・音楽出版収入などの権利収入やマネジメント事業による収入が増加したものの、パッケージ販売収入やレーベル事業収入が前年同期比で減少したことにより、前年同期を下回る結果となりました。イベント関連では、当社主催の野外フェス「Sweet Love Shower 2013」の観客動員数が伸びたことにより、前年同期を上回る結果となりました。また、書籍関連では、前年同期比で新刊本の刊行が減少したことに加え、返品が増加したことにより、前年同期を下回る結果となりました。この結果、売上高は7,634,261千円と前年同期比309,156千円減（同3.9%減）、経常利益（セグメント利益）は、144,432千円と前年同期比78,720千円減（同35.3%減）となりました。

#### ②映像制作事業

当事業につきましては、当第3四半期連結累計期間は従来のミュージックビデオ制作に加え、LIVE映像制作やCM制作の受注が増加したことにより、売上高は1,207,593千円と前年同期比291,023千円増（同31.8%増）と前年同期を上回る結果となりました。この結果、経常利益（セグメント利益）は、77,950千円と前年同期比18,868千円増（同31.9%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、主に流動資産その他が88,553千円、受取手形及び売掛金が76,855千円、敷金及び保証金が37,731千円増加し、一方で現金及び預金が408,617千円、流動資産繰延税金資産が32,883千円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ236,336千円減少し、6,433,999千円となりました。

負債につきましては、主に買掛金が51,840千円増加し、一方で未払金が92,267千円、未払法人税等が82,639千円、賞与引当金が60,585千円、役員退職慰労引当金が40,716千円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ251,285千円減少し、2,675,936千円となりました。また、純資産は利益剰余金が14,783千円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ14,949千円増加し、3,758,063千円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績につきましては、概ね予想通り推移しており、平成25年4月25日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,108,926	2,700,308
受取手形及び売掛金	1,516,523	1,593,378
商品及び製品	230,854	263,186
仕掛品	135,712	169,950
原材料及び貯蔵品	1,131	1,972
未収還付法人税等	—	10,217
繰延税金資産	165,845	132,961
その他	193,488	282,041
貸倒引当金	△67,762	△67,535
流動資産合計	5,284,718	5,086,481
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	494,277	493,310
機械装置及び運搬具	15,506	15,506
工具、器具及び備品	310,941	305,360
土地	72,455	72,455
リース資産	455,071	450,862
建設仮勘定	15,200	—
減価償却累計額及び減損損失累計額	△855,130	△888,324
有形固定資産合計	508,321	449,170
無形固定資産		
ソフトウェア	147,699	211,731
リース資産	3,769	1,926
ソフトウェア仮勘定	83,190	23,377
その他	31,665	18,458
無形固定資産合計	266,324	255,494
投資その他の資産		
投資有価証券	40,170	68,033
敷金及び保証金	302,865	340,596
繰延税金資産	214,152	193,701
その他	69,740	56,477
貸倒引当金	△15,956	△15,956
投資その他の資産合計	610,971	642,852
固定資産合計	1,385,617	1,347,517
資産合計	6,670,335	6,433,999

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	927,069	978,910
リース債務	75,230	53,421
未払金	295,934	203,666
未払法人税等	101,147	18,507
預り金	436,864	459,646
賞与引当金	137,435	76,850
役員賞与引当金	17,995	17,745
返品調整引当金	74,990	94,032
売上割戻引当金	1,273	1,200
その他	74,669	38,641
流動負債合計	2,142,608	1,942,622
固定負債		
リース債務	193,529	156,942
退職給付引当金	461,982	488,286
役員退職慰労引当金	121,911	81,194
その他	7,189	6,889
固定負債合計	784,612	733,313
負債合計	2,927,221	2,675,936
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,789,059	1,789,059
資本剰余金	846,059	846,059
利益剰余金	1,108,087	1,122,870
株主資本合計	3,743,205	3,757,989
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△91	74
その他の包括利益累計額合計	△91	74
少数株主持分	—	—
純資産合計	3,743,114	3,758,063
負債純資産合計	6,670,335	6,433,999

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	8,859,988	8,841,855
売上原価	6,723,199	6,830,696
売上総利益	2,136,788	2,011,159
返品調整引当金繰入額	19,174	19,042
差引売上総利益	2,117,614	1,992,116
販売費及び一般管理費	1,852,961	1,785,831
営業利益	264,653	206,285
営業外収益		
受取利息	326	281
受取配当金	89	89
受取賃貸料	2,100	1,305
業務受託手数料	6,350	133
諸預り金戻入益	7,200	4,203
その他	6,862	5,807
営業外収益合計	22,929	11,819
営業外費用		
支払利息	5,531	3,931
持分法による投資損失	—	1,084
その他	261	319
営業外費用合計	5,792	5,335
経常利益	281,789	212,769
特別利益		
投資有価証券売却益	—	156
固定資産売却益	15	—
特別利益合計	15	156
特別損失		
固定資産除却損	5,046	707
固定資産売却損	71	—
投資有価証券評価損	—	546
特別損失合計	5,118	1,254
税金等調整前四半期純利益	276,686	211,671
法人税、住民税及び事業税	71,140	50,050
法人税等調整額	69,682	53,292
法人税等合計	140,822	103,343
少数株主損益調整前四半期純利益	135,863	108,328
少数株主利益	—	—
四半期純利益	135,863	108,328



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	135,863	108,328
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	180	165
その他の包括利益合計	180	165
四半期包括利益	136,044	108,493
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	136,044	108,493
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	音楽事業	映像制作事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,943,418	916,569	8,859,988	—	8,859,988
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,000	33,104	33,104	△34,104	—
計	7,944,418	949,673	8,894,092	△34,104	8,859,988
セグメント利益	223,152	59,081	282,234	△445	281,789

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引等消去△445千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	音楽事業	映像制作事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,634,261	1,207,593	8,841,855	—	8,841,855
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	20,494	20,494	△20,494	—
計	7,634,261	1,228,087	8,862,349	△20,494	8,841,855
セグメント利益	144,432	77,950	222,382	△9,612	212,769

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引等消去△9,612千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。